

あけましておめでとう

1月 

発行責任者
前田 功

【校長室より】

あけましておめでとうございます

平成24年を迎えました。今年は辰年。辰年、竜といえば・・・昔、中国黄河にある竜門という急流を、登り切ることでできた鯉は竜になる、という中国の古い言い伝えから、立身出世や成功のための関門を「登竜門」というようになったそうです。進学や就職など、世の中に出るための努力を重ねている本校生は、まさに急流をかかのぼる鯉。無事に流れを乗り切って大きな「竜」になることを期待しています。

ところで、元旦の五島地方は曇り空であいにくと初日の出を拝むことは出来なかったようです。長崎もそうでした。でも2日以降はますますの天候が続いたと思います。新しい年に大いなる希望を抱いて行きましょう。

さて、14日(土)15日(日)に大学入試センター試験が本校を会場に行われました。前日には出陣式が行われ、私からは「人事を尽くして、キットカッ(勝)ト!」、学年主任からはパワーレンジャーのパワー注入、進路主任は「後輩や他学年の先生方からの応援の多さを励みに」という具合に、それぞれの言葉で激励を行いました。そして、5組の藤田くんが「みんなを見返してやります」と力強い決意表明を行い、本番モードを高めていきました。翌日から本番。緊張して下を向いたまま入室する人もいれば、教員とのハイタッチをしてテンションを上げて入室する人もいて、それぞれでした。他の離島会場で相次いだ試験問題配布ミスなどの問題は、幸いなことに一切なく、無事試験が終了しました。その直後の生徒たちはさすがにほっとした表情。さあその結果は?今まさに前期後期入試の出願〆切間近です。生徒たちは気持ちを切り換えてガンバレ!

そして、17日(火)には音楽科の原田先生が産休突入のため、五島を離れられました。予定日は3月12日とのこと。2ヶ月ほど自宅で準備をしながら出産に備えるそうです。ご本人は「生徒や先生方との別れが非常に辛い」と言って、泣きの涙で港でのサヨナラセレモニーに臨みました。多数の先生方や生徒諸君に送られて、長崎市内の自宅に帰って行かれました。きっと、健やかでよくしゃべる(?)赤ちゃんが誕生なさると思います。それまでは無事に元気でお過ごしください、と祈るばかりです。後任の鶴見サユリ先生、よろしくお願いします。

また同じく17日には6千4百人余の命が奪われた阪神・淡路大震災から17年目を迎えました。神戸市を中心に兵庫県内各地で追悼行事が行われ、鎮魂の祈りに包まれた一日となりました。今年は、昨年3月11日に起きた東日本大震災の被災者も参加し、失った家族や友人らに思いをはせ、復興への誓いを新たにしました。そんな日でした。思い起こせば、昨年3月の大震災発生の日は、多くの尊い人命や生活の拠点、産業の基盤など多くのものが失われてしまいました。しかしながら、国難ともいべき危機に際して戦後の日本で見失われていたものが、なお健在であることが明らかになりました。家族や地域社会の絆、誰もが運命共同体である日本という国家の一員であるという結びつきが確かめられ、同時に被災者の災害に対する態度、沈着な受け止め方、助け合い、思いやり、堪え忍ぶ姿などが感動を呼び海外からも称賛の声が寄せられたのを覚えています。

野田首相は、その就任時の所信表明演説の中で、大震災と原発事故に触れ、「忘れてはならないものがある」と繰り返し述べました。最初に、大津波に襲われた宮城県南三陸町の職員だった遠藤未希さん。彼女は防災無線で最後まで住民に避難を呼びかけ、結婚式を半年後に控えて24歳で命を落としました。首相は、「被災地の至る所で、自らの命さえ顧みず、他者をいたわる人間同士の深い絆があった」と指摘し、「絶望の中の気高き精神。日本人として生きていく誇りと明日への希望が見いだせる」と絶賛されました。そして、原発事故に関しては「福島の方々の抱く故郷への思いを忘れてはならない」と強調しました。「福島で生まれて、福島で最期を過ごす。それが私の夢だ」という地元高校生の言葉を引用し、「若い情熱の中に被災地と福島の復興を確信できるのではないか」と呼びかけています。

今こそ私たちは、何をなすべきか考えていかなければならないと思います。自己のあり方生き方を見失うことなく、力強く生き抜いて行かなければならない、そういう思いを強くしています。我々はたまたま被害に遭わなかっただけ。もしかしたら被害に遭っていたかも。そう考えると私たちの命は、生かされている命ではないでしょうか。被害に遭われた方々の分までしっかり生き抜いていく、そういう気持ちが必要であると強く思います。

センター試験出陣式 ～ センター試験 ～ 国公立大学個別試験

◎ センター試験出陣式

大学入試センター試験前日の13日（金）に、軽スポーツ場で受験する生徒150名と教職員でセンター試験に向へた「出陣式」を行いました。式に先立って受験生全員に校長先生からの験担ぎのお菓子が配られ、「今までやってきたことを信じて、最後まで諦めることなくやってほしい。」という激励をいただきました。さらに学年主任と進路指導主任からの激励の後、生徒を代表して3年5組の藤田勇大君が「今までやってきた課題の量は一番だと思う。その成果を発揮しよう。」と試験に向けた決意を述べました。各教科担当の先生方からの最後のアドバイスと激励を受けた後、最後に全員で気合いを入れて、出陣式を終えました。

出陣式にあたって、1年生から折り鶴、体育祭の各団の1・2年生や他学年の先生方から応援のメッセージをいただきました。受験生達はメッセージを見ながら、センター試験への決意を新たにしていました。



◎ センター試験

1月14日（土）・15日（日）の両日、大学入試センター試験がここ五島高校で実施されました。五島高校からは150名が受験しました。寒い2日間でしたが、生徒たちは力強く受験に挑み、無事に終わることができました。

3学年の先生方はもちろんのこと、部活動や他学年の先生方から多くの励ましをいただきました。生徒たちは、先生方に勇気をもらいながら受験することができました。ありがとうございました。

次は私大入試、2月25日（土）から始まる国公立大学2次試験に向けて、生徒たちの更なる努力を期待します。



◎ 国公立大学個別試験

2月25日（土）の前期試験、3月8日（木）の中期試験、3月12日（月）の後期試験に向けて、それぞれに頑張っているものと思います。試験場で立ち向かうのは一人ひとりの力ですが、そこにたどり着くのは五島高校に集う全員の力です。すでに進路が決まっている人も、全く違う進路を歩もうとする人も、互いに意識を高めあって、それぞれの選んだ進路に役立てましょう。

2年生・中地区学習交流会（8日，9日）

1月8日（日）～9日（月）の2日間、大村高等学校において、長崎県の中地区と離島地区の高校2年生を対象とした学習交流会が実施されました。これは、難関大学を志望する生徒の「志」を高く維持させ、潜在能力を最大限に引き出すための「学習の場」とするです。本校からも7名の生徒が参加しました。以下は生徒の感想から抜粋したものです。

「ベネッセの講演や国語・数学・英語の講義の中で特に印象的だったのは、難しい入試問題ですら大切なことは、日頃の授業や基礎・基本であるということが分かりました。」

「交流会では、同じ目標を持った仲間と直に話すことができ、とても有意義な時間でした。五島にはできない経験ができて、本当に良かったです。」

職員心肺蘇生法実技講習会（20日）

今年も1月20日（金）に五島市消防署職員2名による教職員を対象にした実技講習会を行いました。心肺蘇生法、AEDの取り扱い方について約1時間をかけて学びました。

平成16年7月から、AEDを医療関係者ではない一般の人も使ってよいことになり、空港や駅など人が多く集まる場所に設置されました。みなさんもいろいろな場所で見かけることがあると思います。本校にも平成16年10月に体育館に設置されました。

研修会に参加した職員は「万が一の事態にも、あわてることなく対応できるように」と2月3日に実施されるマラソン大会にも備えて、真剣に取り組みました。救命措置が1分間遅れるごとに救命率が10%落ちるといわれています。正しい知識と技術、そして行動する勇気の大切さを感じました。

スポーツコース第7期生 卒業発表会（25日）

1月25日（水）に、五島高校普通科スポーツコース第7期生の卒業発表会を、本校軽スポーツ場にて開催しました。最初に前田校長からは来賓・保護者の御来席に対するお礼、3年生に対してこれまでの部活動や学習、そして学校行事への取り組みについての紹介と発表への期待の言葉がありました。その後、五島市教育委員会の都々木先生からみなさんは将来の宝であることを自覚し、志を立てて頑張ってもらいたいとの激励のあいさつがありました。

3年6組スポーツコース生10名が3班に分かれ、3年間の専門科目に関する学習の集大成として、1班は「ウェイトトレーニングと栄養の関連性について」、2班は「補食とコンディショニングの関連性～試合時の補食～」、3班は「メンタルトレーニング効果と必要性」についてプレゼンテーションを用いて発表を行いました。発表後には1、2年生や校長先生から質問もあり、発表者が丁寧に答えていました。

県教育庁体育保健課の大橋先生から指導助言をいただき、専門的な見地から各班への助言やこれからのスポーツコースに対する期待の言葉がありました。最後に、スポーツコース主任の濱口教諭より、立派に発表した3年生に対するのねぎらいの言葉、保護者をはじめ多くの関係者への感謝のことばですべての会を終了いたしました。

御多用な中、来賓、スポーツコース保護者の皆様、本校職員など多くの方々に御参観いただいたことに対しまして感謝いたします。本当にありがとうございました。



衛生看護科1年生・後期施設実習（23日～30日）

7月に2日間の実習を体験し、学習を進めてきた「コミュニケーション」や「日常生活の援助」を、再び実践させていただく機会が1月23日（月）から30日（月）まで与えられました。初めは、顔が強張っているような、緊張した生徒の表情が印象的でした。その後、コミュニケーションや食事介助、排泄や清潔の援助など、高齢者との様々な関わりを通し、前期にはできなかったことができるようになった達成感、自分が学んだことを実践して誰かに喜んでいただけることの充実感を味わうことができました。また、それぞれが今後の新たな課題も見出すことができました。十分な知識と技術習得の必要性、個別ケアの難しさ、そして何より、人を相手として働くことができる看護職の尊さなど、6日間の実習を通して感じたこと、考えたことを忘れず、今後の学習を深めていきたいと思えます。

お世話になった関係の皆様方、ありがとうございました。今後とも、御指導よろしくお願ひします。

【生徒感想】

- 利用者の方に、「足の爪を切ってほしい。」と依頼されたが、その方の爪は驚くほど硬く、分厚く、今の自分の技術では、怪我をさせてしまう恐れがあることを説明し、断った。どんなに些細なことでも、相手のニーズに応えられない悔しさをもう味わいたくないと思った。だから、これから何度も練習を重ね、今後、必ず実践できるようにしておきたい。
- 利用者の方の寝衣交換をする際、前期の実習より、少しだけ自信をもって行うことができた。まだまだ未熟な私の援助に、「ありがとう。」とくださった利用者の方の笑顔を見て、嬉しさと申し訳なさを感じ、もっと上手になりたいと思った。患者さんに安心してケアを受けてもらえるように、様々なケアの技術を身につけたい。



第33回下五島地区百人一首大会（11日）

1月11日（水）五島高校セミナーハウスにおいて、五島海陽高校、五島南高校、奈留高校と本校の4校が参加する百人一首大会が開催されました。本校からは、百人一首かるた部の生徒6名が出場しました。この大会は、下五島地区の高校の交流を深めることを目的としており、試合ごとに各校5名の選手による団体戦で行われました。

県大会や全国大会とは違う特別なルールで行われた中、本校の生徒たちも一生懸命頑張っており、7連覇を飾ることができました。応援ありがとうございました。



新転任者紹介♪

こんにちは。原田理香先生の産休代替として、音楽と吹奏楽部の顧問を担当することになりました、鶴見サユリと申します。私の五島高校に対する第一印象は「なんて素敵な学校なのでしょう」というものでした。お城の跡に校舎が建てられ、とても風情があり、音楽の授業を行う芸術棟への移動も、毎回その風景を楽しみながら行き来しております。また校舎も新しく、教室や廊下の窓々は大きくて開放的なので、生徒たちも明るく活発な学校生活を送っているのだと思います。この多感な時期に、このような素晴らしい環境で勉強している五島高校の生徒のみなさんが羨ましくもあり、私自身もこれから生徒たちと一緒に大きく成長していきたいという気持ちでいっぱいです。

「善き伝統を受け継ぎながら、そこに新たな伝統を加えていく」。これが五島高校の校風だと、私は校舎から、生徒のみなさんから、先生方から感じ取っています。新たな一頁を、みなさんと力を合わせて創っていったらと願っています。教師1年目で至らない面も多々あるかと思いますが、保護者の皆様には温かく見守っていただければ幸いです。

よろしくお祈りいたします。



祝 PTAだより『蓮風』 広報誌コンクール入賞

長崎県公立高等学校PTA連合会による平成23年度広報誌コンクールにおいて、本校のPTA広報委員会が作成したPTAだより『蓮風』が奨励賞を受けました。寄稿していただいた方々に感謝申し上げます。

なお、2月に発行される県PTA会報で紹介されるとともに、5月31日（木）に開催される平成24年度の定期総会で表彰される予定です。今後作成するPTAだよりがますます良いものになりますように、これからもご協力をお願いします。

◎ 試合結果報告

- | | | | | |
|----------|----------------------|------------|------|------|
| 【 剣 道 】 | 長崎地区高等学校学年別剣道大会 | 男子個人 | 3位 | 濱端正義 |
| | | 女子個人 | 2位 | 濱口沙織 |
| | | | 3位 | 村山遥貴 |
| 【 柔 道 】 | 全国高等学校柔道選手権長崎県大会 | 男子団体 | 3位 | |
| | | 男子個人 81kg級 | 3位 | 祝貴之 |
| 【 サッカー 】 | 長崎県高等学校新人体育大会（第46回） | 五島地区大会 | 第1位 | |
| 【 百人一首 】 | 太宰府かるた競技大会 大納言位戦（D級） | 3位 | 橋本莉子 | 谷川晶保 |
| | 下五島地区高等学校百人一首大会 | 優勝 | | |

